

沖縄工業高等専門学校		開講年度	令和06年度 (2024年度)	授業科目	航空実習
科目基礎情報					
科目番号	7003		科目区分	専門 / 選択	
授業形態	実習		単位の種別と単位数	履修単位: 3	
開設学科	機械システム工学科		対象学年	5	
開設期	通年		週時間数	3	
教科書/教材	教員が作成する資料、実習受け入れ先企業から配布される資料、その他航空実習に関わる資料・新聞情報など				
担当教員	上原 昭雄,大貫 龍哉				
到達目標					
① 座学や基礎実習などで学んだ知識が社会活動にどのように関わっているかを研修/実習を通して理解する。 ② 研修/実習を通して、自分自身の現状を理解し、航空整備士あるいは航空機エンジニアへの適性を考えることができる。 ③ 研修/実習を通して、整備業務を円滑に進めるために必要な基礎知識を認識する。 ④ 航空産業の企業における安全・品質の大切さを認識することができる。					
ルーブリック					
	理想的な到達レベルの目安	標準的な到達レベルの目安	最低限必要な到達レベル (可)		
座学や実験などで学んだ知識が社会活動にどのように関わっているかを研修/実習を通して理解する。	プログラム指定科目の知識が企業などでどのように活用・応用されているかを理解できる。	プログラム指定科目の知識が企業などでどのように活用されているかを理解できる。	研修/実習を通して、仕事の内容や進め方を理解することができる。		
研修/実習を通して、自分自身の現状を理解し、仕事への適性を考えることができる。	研修/実習を通して、自分自身の現状を理解し、仕事への適性を考え、行動することができる。	研修/実習を通して、自分自身の現状を理解し、仕事への適性を理解することができる。	研修/実習を通して、自分自身の現状を理解することができる。		
研修/実習を通して、社会活動を円滑に進めるために必要な要素・能力・知識を認識する。	研修/実習を通して、社会活動を円滑に進めるために必要な要素・能力・知識を認識することができる。	研修/実習を通して、社会活動を円滑に進めるために必要な要素・知識を認識することができる。	研修/実習を通して、社会活動を円滑に進めるために必要な要素を認識することができる。		
航空産業の企業における安全・品質の大切さを認識することができる。	航空産業の企業における安全・品質の絶対的基準を認識することができる。	航空産業の企業における安全・品質のポリシーや価値観を認識することができる。	航空産業の企業における安全・品質の基本方針を認識することができる。		
学科の到達目標項目との関係					
教育方法等					
概要	・ 4年次に学んだ「整備基礎Ⅰ」の学習内容と5年次からの「航空機整備基礎実習」・「整備基礎Ⅱ」を通して、現場の研修/実習の結合により学習効果および学習意欲の向上を図り、高い職業意識を育成し、自主性・独創性のある人材の育成を目指す。 ・ 実習（体験）により、修得した専門知識や技術に裏打ちを与えたり、航空整備士あるいは航空機エンジニアに必要な基礎知識を身につける。				
授業の進め方・方法	授業の進め方は実習の進捗により異なる。また、状況により実施不可能となる場合がある。（緊急事態宣言の発令など）				
注意点	前期対面時間 (90分×2コマ×15週：60単位時間) ※前期中にJTAで実習を行うこともある 後期対面時間 (90分×1コマ×15週：30単位時間)				
授業の属性・履修上の区分					
<input type="checkbox"/> アクティブラーニング		<input type="checkbox"/> ICT 利用		<input type="checkbox"/> 遠隔授業対応	
<input checked="" type="checkbox"/> 実務経験のある教員による授業					
授業計画					
	週	授業内容	週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	整備基礎実習	航空機整備に必要な基礎知識と基本技能に関する実習	
	2週	整備基礎実習	航空機整備に必要な基礎知識と基本技能に関する実習		
	3週	整備基礎実習	航空機整備に必要な基礎知識と基本技能に関する実習		
	4週	整備基礎実習	航空機整備に必要な基礎知識と基本技能に関する実習		
	5週	整備基礎実習	航空機整備に必要な基礎知識と基本技能に関する実習		
	6週	整備基礎実習	航空機整備に必要な基礎知識と基本技能に関する実習		
	7週	整備基礎実習	航空機整備に必要な基礎知識と基本技能に関する実習		
	8週	整備基礎実習	航空機整備に必要な基礎知識と基本技能に関する実習		
	2ndQ	9週	整備基礎実習	航空機整備に必要な基礎知識と基本技能に関する実習	
	10週	整備基礎実習	航空機整備に必要な基礎知識と基本技能に関する実習		
	11週	整備基礎実習	航空機整備に必要な基礎知識と基本技能に関する実習		
	12週	整備基礎実習	航空機整備に必要な基礎知識と基本技能に関する実習		
	13週	整備基礎実習	航空機整備に必要な基礎知識と基本技能に関する実習		
	14週	整備基礎実習	航空機整備に必要な基礎知識と基本技能に関する実習		
	15週	整備基礎実習	航空機整備に必要な基礎知識と基本技能に関する実習		
	16週	インターンシップ（航空会社各社）	夏季休業中に5日間（8時間/日）の現地実習を行う。 ①MTM実習 ②シュミレーター見学 ③実機見学 ④その他		
後期	3rdQ	1週	成果の報告	前期の実習およびインターンシップの報告	
	2週	キャリア教育	1. 整備基礎実習 2. 資格試験対策（航空無線通信士、危険物取扱者等） 3. 進路選択など		

		3週	キャリア教育	1. 整備基礎実習 2. 資格試験対策（航空無線通信士、危険物取扱者等） 3. 進路選択 など	
		4週	キャリア教育	1. 整備基礎実習 2. 資格試験対策（航空無線通信士、危険物取扱者等） 3. 進路選択 など	
		5週	キャリア教育	1. 整備基礎実習 2. 資格試験対策（航空無線通信士、危険物取扱者等） 3. 進路選択 など	
		6週	キャリア教育	1. 整備基礎実習 2. 資格試験対策（航空無線通信士、危険物取扱者等） 3. 進路選択 など	
		7週	キャリア教育	1. 整備基礎実習 2. 資格試験対策（航空無線通信士、危険物取扱者等） 3. 進路選択 など	
		8週	キャリア教育	1. 整備基礎実習 2. 資格試験対策（航空無線通信士、危険物取扱者等） 3. 進路選択 など	
		4thQ	9週	キャリア教育	1. 整備基礎実習 2. 資格試験対策（航空無線通信士、危険物取扱者等） 3. 進路選択 など
			10週	キャリア教育	1. 整備基礎実習 2. 資格試験対策（航空無線通信士、危険物取扱者等） 3. 進路選択 など
	11週		キャリア教育	1. 整備基礎実習 2. 資格試験対策（航空無線通信士、危険物取扱者等） 3. 進路選択 など	
	12週		キャリア教育	1. 整備基礎実習 2. 資格試験対策（航空無線通信士、危険物取扱者等） 3. 進路選択 など	
	13週		キャリア教育	1. 整備基礎実習 2. 資格試験対策（航空無線通信士、危険物取扱者等） 3. 進路選択 など	
	14週		キャリア教育	1. 整備基礎実習 2. 資格試験対策（航空無線通信士、危険物取扱者等） 3. 進路選択 など	
	15週		キャリア教育	1. 整備基礎実習 2. 資格試験対策（航空無線通信士、危険物取扱者等） 3. 進路選択 など	
	16週		期末試験は実施しない		

評価割合

	試験	レポート	その他	合計
総合評価割合	0	90	10	100
基礎的能力	0	20	0	20
応用力（実践・専門・融合）	0	40	0	40
社会性（プレゼン・コミュニケーション・PBL）	0	10	10	20
主体的・継続的学修意欲	0	20	0	20